

『感性品質のモノづくり・地域連携による果樹研究』

主催：静岡市清水産業・情報プラザ（指定管理者：静岡商工会議所） 共催：新産業開発振興機構

今回は、静岡大学にご協力いただき、第141回の講演会を開催いたします。会場聴講とオンライン聴講のハイブリッド講演会として実施いたします。多数の方のご聴講をお待ちしております。是非、今後の事業活動等にお役立ていただきますようご案内申し上げます。

開催日時 2022年11月29日（火）17:00～18:30

方 法 会場聴講：静岡市清水産業・情報プラザ3階研修室1・2
オンライン聴講：申込者に視聴 URL アドレスをご連絡いたします講演 1 『感性品質を考慮したモノづくり』
静岡大学 情報学部 行動情報学科 准教授 梶原 千里 氏講演 2 『静岡の果物を科学する ～地域に根差した果樹研究～』
静岡大学 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド
准教授 八幡 昌紀 氏

参加料 無料

定 員 会場聴講：30名、オンライン聴講：無し

申込方法 下記申込書に記入してFax、E-mailで申し込み下さい。

* オンライン聴講の場合、後日視聴 URL アドレスをご連絡いたします。

事務局 静岡商工会議所 産業振興課(担当:岸端、堀川)

TEL:054-355-5400 FAX:054-352-7817 E-mail:info@siip.jp



※お申込み時には必ずメールアドレスを記入下さい。

※申込書にご記入いただいた情報は、静岡商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますことをご了承下さい。

第141回「産学官交流」講演会(静岡大学) 参加申込書

2022年11月29日(火)開催

Fax 054-352-7817

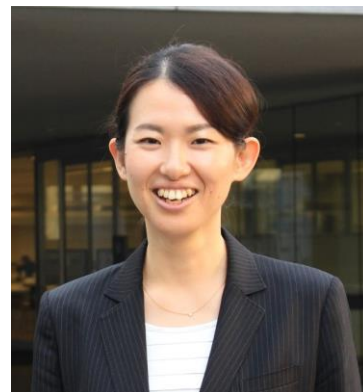
事業者名			
参加者名		役職	
所在地		TEL	
e-mail		Fax	
聴講会場	会場聴講	オンライン聴講	

※申込書にご記入いただいた情報は、名簿として利用するほか、静岡商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますのでご了承ください。又、今後の『産学官交流講演会』のご案内を送付させていただきます。(原則 e-mail 案内とさせていただきます。)

講演1 『感性品質を考慮したモノづくり』

静岡大学 情報学部 行動情報学科 准教授 梶原 千里 氏

品質がよいとは、顧客の要求と合致していることを指します。つまり、品質がよいものとは、顧客の要求を満たし、顧客が満足するものということになります。品質を向上させるひとつのアプローチとして、感性品質を考慮したモノづくりがあります。感性品質とは、「この車は乗り心地がよい」「このお菓子のパッケージデザインはおいしそうに見える」といった、人間が抱くイメージやフィーリングによって表現される品質のことです。私は、ユーザーが製品を利用した際に抱く印象を評価し、それを設計に落とし込んで、よりよい製品を生み出す方法論を検討しています。本講演では、事例を交えながら、感性品質を考慮したモノづくりの方法や研究内容についてご紹介します。



【略歴】2013年3月に、早稲田大学創造理工学研究科経営デザイン専攻博士課程を修了し、博士（経営工学）を取得。2013年4月より、早稲田大学創造理工学部経営システム工学科の助手、助教、講師（任期付）を経て、2019年4月に静岡大学情報学部へ専任講師として着任。2022年4月より現職、専門分野は品質マネジメントで、医療界へのTotal Quality Management (TQM)の導入や災害医療継続マネジメントシステムの研究に取り組んでいる。産業界とは、現在、感性品質の共同研究を行っている。

講演2 『静岡の果物を科学する ～地域に根差した果樹研究～』

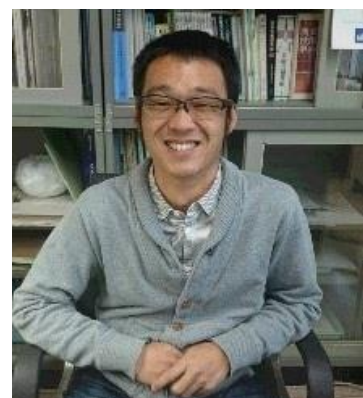
静岡大学 農学部附属 地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド
准教授 八幡 昌紀 氏

キーワード：植物生産管理技術、受粉受精・胚発生、果実発育・成熟、植物成長調節物質、種苗種子生産・繁殖、資源植物開発利用

静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター・藤枝フィールドには、植物生産管理学研究室が設置されており、持続型農業に関する基礎研究、高品質・減農薬園芸の研究、栽培技術の改良、品種改良に関する基礎的研究など、「安全でおいしい農産物の生産」と「環境保全」との両立を目指した教育研究を行っています。

我々の研究グループでは、静岡県の特産果樹であるカンキツ類をはじめ、スモモ、キウイフルーツ、ブルーベリー、オリーブなど様々な果樹を用いて、①染色体工学的手法を用いた高品質果樹の開発、②果樹の結実生理に関する研究、③新規果樹の導入・栽培試験に関する研究を行っています。

また、我々が有する果樹に関する栽培、繁殖および育種などの手法・技術や本フィールドが所有する遺伝資源を用いて、県内の農業振興に取り組んでいます。本講演では、これまで取り組んできた地域との連携について紹介します。



【略歴】1978年生まれ。鹿児島大学大学院連合農学研究科博士課程修了（2006年）。博士（農学）。2005年静岡大学農学部着任。主な研究分野は、果樹園芸学、植物育種学。